

自分なりの試験対策



取得した資格：一級建築士
資格取得年度：令和2年度

もり しま たか ゆき
森 島 貴 之*

受験の動機・経緯

私が一級建築士に合格したのは令和2年度でしたが、初めて受験したのは平成27年度でした。職務の関係上、一級建築士資格と建築基準適合性判定資格を取得する必要があります。ただ、私自身は特に急ぐ必要性を感じておらず、毎年なんとなく受験しており、学科試験不合格が続いていました。

しかし、日々の業務の中で、有資格者である設計事務所との打合せ時に感じる能力不足や、他部局からの相談対応時などに感じる知識不足から、「なにかしら勉強しないと」という漠然とした不安は年々大きくなっていました。そこで、まずは一級建築士試験に向き合おうと改心したのが、受験に対し本気となったきっかけになります。

最初に断らせていただきますが、私自身自制心も弱く、非常に飽きっぽい性格です。私の学習方法が役立つかはわかりませんが、あくまで一例として、わずかでも参考になる箇所があればと思います。

筆記試験における学習方法①

私が何年も学科試験不合格だった原因は、明らかに勉強量不足でした。私の周りで合格した方々から話を聞くと、試験の半年～1年以上前から毎日の勉強を（どんなに忙しい日でも、毎日最低10分は勉強するなど）習慣づけていたそうです。

先達のようにできれば最良なのですが、私にはとても、そのような自制心を持ち続ける自信はありませんでしたので、資格学校を利用して短期集中的に勉強することにしました。資格学校に通っても、少ない時間で効率的に理解度が上がるわけではなく、必死に勉強時間を確保しなければならないことに代わりありませんでした。しかし、毎週の復習課題や定期的な模擬試験などにより、高いモチベーションを維持することができたため、飽き性な私でもなんとか勉強習慣を継続することができました。

筆記試験における学習方法②

具体的な学習方法については、基本的に過去問を解き、参考書で復習する、その繰り返しでした。昼休みなどのスキマ時間や、なかなかやる気でない時は、WEBサイト等を活用していました。動画サイトの動画や、資格学校講師の解説ブログなどは、ひとつひとつが短編であることと、普段見飽きている問題形式ではないことで、勉強という感覚なく見ることができたので、私と同じような飽き性にもお勧めできます。

製図試験対策

製図試験は、与えられた設計条件（A2用紙1枚）を踏まえて、基本計画（A2図面とA3記述）を作

*鹿児島県 土木部 建築課 営繕室 建築技師

成します。試験時間は6時間半で、そもそも時間内に図面と記述の全てを完成させること自体が大変な試験です。筆記試験からの数か月間、ひたすら一心不乱に学校の課題をこなしていたため、役立つかわかりませんが、私が気を付けた点を2つほど紹介します。

1つ目は、当たり前ですが作図を終わらせることです。製図試験は、綺麗な図面を描く試験ではなく、設計条件に適合した計画を行い、その計画を採点者に伝える試験です。作図が終わらなければ必ず不合格となりますし、多少は線や文字が荒くてなくても完成さえしていれば採点されるので、常に時間を意識して作図しました。作図時間の短縮方法は人それぞれだと思いますが、私の場合は道具は最小限にして持ち替えの時間を減らし、短い線はフリーハンドで描くなどの試行錯誤をしました。

2つ目は、手順の徹底です。計画検討（エスキス）時における建築可能範囲・高さの検討や各種条件の検討、作図時における柱・壁の書き込みや寸法・室名・植栽・什器などの書き込みなど、毎回同じ手順で検討・作図することを徹底しました。日頃から同じ手順とすることで、自分の進捗ペースが普段と比較し遅れていないか把握できるとともに、検討・作

図忘れの防止にも繋がると考えています。

最後に

いろいろと述べさせていただきましたが、私自身本試験の際は時間配分をミスしました。製図試験は午前11時から始まるため、時計とストップウォッチの時間がちょうど1時間ずれます。（時計が午後「1:00」の時、ストップウォッチは「2:00」となります。）その結果、試験の中盤で、実際は残り時間2時間のところを、まだ3時間あると勘違いしてしまい、それに気づいた終盤は、大慌てで図面を仕上げることになりました。試験当日は、何が起きるかわかりません。対策してもなお、最後の最後で時間管理を失敗しましたが、パニック時でも作図の漏れなく完成まで至れたことは、これまで積み重ねた対策のおかげだと思います。今後受験される皆様も、人それぞれに苦労があると思いますが、最後の最後まで諦めずに頑張ってください。

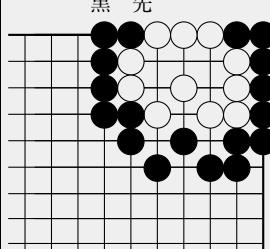
最後になりますが、職場の方々・業務に関わる様々な方々には、資格試験のために多大なご理解・ご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

【著者紹介】 森島 貴之（もりしま たかゆき）

平成25年鹿児島県に建築技師として入庁。現在、建築課営繕室にて、営繕工事の計画、技術基準等に係る職務に従事。

詰 碁

黒 先

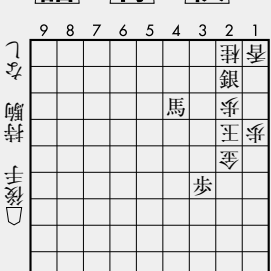


出題 土井 誠 八段

[ヒント]
手順が大切な見本です。

[あなたの棋力は?]
5分……………初段
(解答は80頁)

詰 将 棋



出題 石田 和雄 九段

[ヒント]
詰将棋ならではの妙手順。

▲ 先手
● 持駒
飛 銀 銀
五 六 七 八 九

[あなたの棋力は?]
5分……………三段
10分……………初段
(解答は80頁)